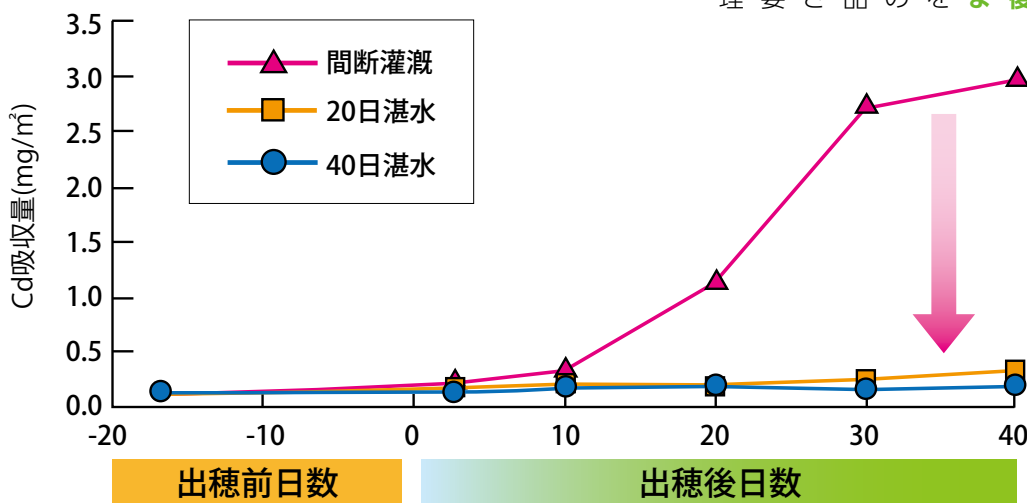


出穂後(8月)の湛水管理について

これから本格的に登熟時期を迎える時期となり、水稻の一生の中で最も水を必要とする期間になります。高温が続くこの時期に水を切らずと白未熟粒の発生や籾の充実不足が助長されるので、しっかりと田んぼに水を張ってください。

また、**湛水管理はカドミウムの吸収を抑制させることから、出穂前後各3週間は常時湛水管理を行いましょう。**落水時期は収穫5日前頃を目安にできる限り遅らせ、根や葉の活力を収穫直前まで維持し、米の品質が低下しないよう注意してください。用水の利用に当たっては、必要以上の取水にならないよう、水管理を徹底してください。

出穂後の間断灌溉管理では、**玄米カドミウムの吸収が高まります。常時湛水管理(出穂後3週間)を継続実施して下さい。**



適期収穫について

出穂時期をチェックし、今から収穫期の計画を立てましょう!!

収穫は稲作を締めくくる重要な作業です。同じ品種でも移植時期や肥培管理によって刈取り時期が異なります。圃場の稲を確認し収穫の予測をすることで余裕をもって収穫準備・収穫作業ができます。収穫適期を過ぎると、胴割粒、白未熟粒の割合が増し、品質低下に繋がるので注意してください。近年は、出穂後(8月)の気温が高く、登熟日数が以前より短くなっています。

栽培手引き裏表紙裏の「**収穫適期判定シート**」をご活用下さい



葉色に惑わされず穂を確認



籾黄化率50%程度を確認してから約7日後で、上から3~4本目の枝梗につく籾が全て黄化した、籾黄化率85%の頃が収穫適期です!!

出穂後の気温が高くなったら 要注意

出穂期から成熟期までの日数(目安)		
みずかがみ	コシヒカリ	秋の詩
33日	34日	39日